

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
岩国YMCA国際医療福祉専門学校	平成10年3月31日	上久保 昭二	〒740-0018 山口県岩国市麻里布町2-6-25 (電話) 0827-29-2233				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人 広島YMCA学園	昭和42年3月22日	松井 敏	〒730-8523 広島県広島市中区八丁堀7-11 (電話) 082-228-2266				
目的	保健・医療及び福祉等に関する専門的知識および技術を教授し、キリスト教精神に基づき、豊かな人間性を養い、地域の保健・医療・福祉の向上に貢献できる人材を育成する。						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療	医療専門課程	看護学科	平成12年文部科学省告示第15号				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2,190	1,320	150	720	0	0
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
80人	44人	7人	41人	48人			
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 科目試験・実習の成績、履修状況、その他の方法に基づいて行う。成績基準はA: 80～100点、B: 70点～79点、C: 60点～69点、D: 60点未満。A/B/Cは合格、Dは不合格			
長期休み	■夏 期: 7月下旬から8月下旬 ■冬 期: 12月下旬から1月上旬 ■春 期: 3月下旬から4月上旬		卒業・進級条件	在学年限内に68単位2190時間を履修し、授業科目の各々の単位を認定され、出席日数が出席すべき日数の2/3以上の者			
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 保護者に連絡し、状況の応じて、保護者面談、三者面談を行う。欠席中も定期的に本人に連絡を入れ様子を確認する。		課外活動	■課外活動の種類 英会話、茶道、トーンチャイムなど ■サークル活動: 有			
就職等の状況	■主な就職先、業界等 岩国市医療センター医師会病院、国立病院機構岩国医療センター、岩国中央病院、原田病院、光市立光総合病院等 ■就職率^{※1} : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合^{※2} : 100 % ■その他 (平成28年度卒業者に関する平成29年5月1日時点の情報)		主な資格・検定等	看護師(国家試験受験資格) 保健師学校受験資格 助産師学校受験資格			
中途退学の現状	■中途退学者 0名 ■中退率 0 % 平成28年4月1日 在学者 57名(平成28年4月1日 入学者を含む) 平成29年3月31日 在学者 57名(平成29年3月31日 卒業者を含む)						
	■中途退学の主な理由						
	■中退防止のための取組 定期的面談による問題の早期発見と非常勤講師等の情報の共有。スクールカウンセリングの活用、保護者との面談実施。						
ホームページ	http://iwakuni-ymca.jp						

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

急速な少子高齢化の進展、医療技術の進歩の中で看護師への社会のニーズは多様化してきている。その中で、安全で質の高い看護を提供することはもとより、社会の変化にも対応していける看護師を育成していくことができるよう、実習施設や地域福祉活動の関係者それぞれの立場から意見をいただき、教育課程の編成に反映をしていく。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成29年4月1日現在

名前	所属
浴森 公子	山口県看護協会常務理事(岩国市医療センター医師会病院 看護部長)
白銀 優子	岩国中央病院 総看護部長(第三期卒業生)
村岡 恒信	岩国市地域福祉活動計画策定推進委員会 委員長
福水 美恵	岩国YMCA国際医療福祉専門学校 校長補佐兼特別顧問
江見 享子	岩国YMCA国際医療福祉専門学校 副校長兼保健看護学科長
矢野 結花	岩国YMCA国際医療福祉専門学校 看護学科 学科長
沖島 均	岩国YMCA国際医療福祉専門学校 事務長

(開催日時)

第1回 平成28年5月24日 18:00~19:00

第2回 平成28年12月19日 18:00~19:10

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

教育現場と臨地との情報交換を密にし、実習目標を到達させるため、教育内容や指導方法について相互意見交換をし、質の高い教育を行う。

科目名	科目概要	連携企業等
基礎看護学実習	基礎分野・専門基礎分野・専門分野Ⅰの学習を基盤にして、看護を提供するための基礎的能力を養う。看護過程の展開方法を学ぶ。	山口県厚生農業協同組合連合会周東総合病院 岩国中央病院
成人看護学実習	成人期の対象を総合的に理解し、健康上の問題を持つ個人および家族の看護が実践できる能力を養う。	山口県厚生農業協同組合連合会周東総合病院
老年看護学実習	老年期の対象を総合的に理解し健康上の問題を持つ個人および家族の看護が実践できる能力を養う。	山口県厚生農業協同組合連合会周東総合病院 特別養護老人ホーム ゆうあい
小児看護学実習	小児期の対象を理解し、健康上の問題を持つ個人および家族の看護が実践できる能力を養う。	山口県厚生農業協同組合連合会周東総合病院 国立病院機構柳井医療センター 岩国市立えきまえ保育園 岩国市立かわしも保育園
母性看護学実習	妊娠・分娩・産褥・新生児期における特徴を理解し、母児およびその家族への看護が実践できる能力を養う。	山口県厚生農業協同組合連合会周東総合病院 岩国病院、こども館
精神看護学実習	精神に障害を持つ対象を理解し、健康上の問題を持つ個人および家族の看護が実践できる能力を養う。	医療法人新生会いしい記念病院
在宅看護論実習	地域および在宅において、対象および家族の状態に応じた看護が実践できる能力を養う。	医療法人新生会訪問看護ステーション「わかあゆ」、広島県看護協会訪問看護ステーション「若草」、短期入所生活介護事業所「ゆうあい」、グループホームかなえ、居宅介護支援事業かなえ介護保険相談室、訪問看護ステーションつくし、居宅介護支援、岩国市社会福祉協議会社協介護相談センター岩国、公立みつぎ総合病院
総合実習	複数の事例を体験し総合的な判断能力を養う。他職種との協働の中で看護師としての役割を学び、幅広い視点から患者をとらえて、その場に適切な対応ができる能力を養う。患者の1日の変化を把握し看護について学ぶ。	山口県厚生農業協同組合連合会周東総合病院

在宅看護方法論Ⅱ (看護過程)	在宅看護の方法を理解するとともに在宅看護の技術を習得する。	医療法人新生会訪問看護ステーション「わかあゆ」、
看護技術統合演習	事例を用いた技術演習を行うことで状況に応じた看護技術の実践ができる能力を身につける。	山口県厚生農業協同組合連合会周東総合病院

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

「教職員研修規程」に基づいて各教職員の専門分野の知識・技術の向上および、教育力の向上を図り、質の高い教育実践を目指すために研修の計画を行う。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成29年4月1日現在

名 前	所 属
柏村 雅実	岩国YMCA国際医療福祉専門学校 卒業生保護者
浴森 公子	岩国市医療センター医師会病院 看護部長
白銀 優子	岩国中央病院 総看護部長(第三期卒業生)
山崎 幹	岩国第一病院 事務部顧問
半田 達也	介護老人保健施設 みどり荘 事務長
福水 美恵	岩国YMCA国際医療福祉専門学校 校長補佐兼特別顧問
江見 享子	岩国YMCA国際医療福祉専門学校 副校長兼保健看護学科長
金澤 暁民	岩国YMCA国際医療福祉専門学校 自己点検自己評価委員長
沖島 均	岩国YMCA国際医療福祉専門学校 事務長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://iwakuni-ymca.jp/content/pdf/koukai/gakkouhyouka-iin-jikohyouka-kouhyou.pdf>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://iwakuni-ymca.jp/disclosure.html>

授業科目等の概要

(医療専門課程看護学科) 平成29年度														
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 単 位 時 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			倫理学	保健・医療・福祉に携わる者としての倫理的規範を理解すると共に人間尊重の態度を身につける。 ボランティアについて理解し、日常生活に活かすことができる。	1前	30	1	○			○		○	
○			国語表現	論理的思考の基礎を学ぶ。 文章の読解力、表現力、書く力を身につける。	1前	30	1	○			○			○
○			社会学	人間を取り巻く社会的要因を知り社会の一員としての人間を理解すると共に多様な社会の中で幅広いものの見方ができる能力を学ぶ。	2前	30	1	○			○			○
○			人間関係論	人間の心理や行動のしくみとその背景を理解し、人間関係にとって基本的な事柄を学ぶ。 カウンセリングについての基本的知識を習得し、看護場面におけるカウンセリング技法を身につける。	1後	30	1	○	△		○			○
○			情報科学	情報社会に対応できるようコンピューターの基礎的知識ならびに統計処理の基礎を身につける。	2前	30	1	○	△		○			○
○			基礎英語	医療、看護の国際化にともない英語によるコミュニケーションに必要な基礎能力を身につける。	1前	30	1	○			○			○
○			看護英語	英語で書かれた看護に関する文献や医学用語を学ぶ。	2前	30	1	○			○			○
○			解剖生理学	人体の構造と機能を系統立てて理解し、病態生理学を理解するための基礎的知識を身につける。	1前	60	2	○			○			○
○			病理学	病因と病変の特徴を理解し、生体に現れる病変の成り立ちを構造と機能面から学ぶ。	1前	30	1	○			○		○	○
○			病態生理学 I (呼吸器・循環器)	呼吸器・循環器機能を障害された疾患の病態生理、治療、検査について学び、身体的アセスメントができる基礎的知識を習得する。	1前	30	1	○			○			○

○		看護方法論 I (生活援助技術)	日常生活の援助技術の基礎的知識を学習し科学的根拠に基づいた看護技術を習得する。	1 前	30	1	○			○		○		
○		看護方法論 II (治療関連技術、経過別看護)	対象が診察、検査を受ける際に必要な診療の援助技術を習得する。各経過に応じた看護の特徴を理解する。	1 後	30	1	○			○		○		
○		看護方法論 III (ヘルスアセスメント)	対象者の健康状態を身体的・心理的・社会的な状態からアセスメントすることの重要性を学ぶ。さらに対象者の健康状態を実際にアセスメントできる基本的技術を習得する。	1 前	30	1	○	△		○		○		
○		看護方法論 IV (看護過程)	NANDAの看護診断の概念を用いて看護過程の展開を理解する。	1 後	30	1	○	△		○		○		
○		基礎看護技術演習 I (生活援助技術)	看護方法論 I・II・IIIの学習をもとに基礎看護技術を実践する能力を養う。	1 前	45	1		○		○		○		
○		基礎看護技術演習 II (治療関連技術)	看護方法論 I・II・IIIの学習をもとに基礎看護技術を実践する能力を養う。	1 後	45	1		○		○		○		
○		基礎看護学実習	基礎分野・専門基礎分野・専門分野 I の学習を基盤にして、看護を提供するための基礎的能力を養う。看護過程の展開方法を学ぶ。	1 後	90	2				○		○	○	○
○		成人看護学概論	成人各期の対象の特徴を理解し、成人看護の機能と役割について理解する。成人保健の動向を理解し、疾病及び異常の発生や予防の知識を学ぶ。また、成人看護に必要な中範囲理論を学ぶ。	1 前	30	1	○			○		○		
○		成人看護方法論 I	主要症状に応じた看護を学ぶ。健康のレベルに応じた看護（急性期）について学ぶ。	1 前	30	1	○			○		○		
○		成人看護方法論 II	主要症状に応じた看護を学ぶ。健康のレベルに応じた看護（回復期・慢性期・終末期）について学ぶ。	1 前・ 後	60	2	○			○		○	○	
○		老年看護学概論	老年期にある対象の身体的・精神的・社会的特徴を理解する。老年のライフステージとその健康課題を理解する。老化と加齢に伴う高齢者の健康状態の理解を深め、老年看護の機能と役割を理解する。高齢者の人格と生命を尊重する態度を養う。	1 前	15	1	○			○		○		

○		老年看護方法論	高齢者の生命維持・健康生活維持のための看護実践について理解する。 高齢者の生活と基本的な日常生活の援助方法を学ぶ。 健康障害をもつ高齢者と家族に対する看護の方法を学ぶ。	1 後	60	2	○		○	○	○		
○		小児看護学概論	小児の健全な成長過程と、小児の特徴を学ぶ。 小児看護の変遷と理念・目的を理解する。 成長発達を支える、環境・保健・医療・福祉に関わる看護の役割について学ぶ。	1 前	30	1	○		○	○			
○		小児看護方法論	小児各期の健康障害を持つ対象を理解し、状態に応じた小児と家族に対する看護を学ぶ。	1 後	60	2	○		○	○	○		
○		母性看護学概論	母性について理解し、母性を取り巻く社会の変遷と現状をふまえて母性看護の機能と役割を学ぶ。 女性の性と生殖に関する健康と権利を守る観点から、ライフサイクルに応じた対象を理解し、健康の維持、増進、疾病予防を目的とした母性保健活動における看護の役割を学ぶ。	1 後	30	1	○		○	○			
○		母性看護方法論	周産期および新生児期における対象を理解し、健全な母性機能を促すための看護を学ぶ。	1 後	60	2	○		○	○			
○		精神看護学概論	精神看護の概念や精神障害者の問題と社会背景について学ぶ。 人の成長発達の過程や社会的状況の中で生じる危機に対する看護を学ぶ。	1 前	15	1	○		○		○		
○		精神看護方法論	主な精神障害とその病態を学ぶ。 看護師・患者関係の成立・発展の必要性を理解し、健康障害の状態に応じた援助方法を学ぶ。	1 後	60	2	○		○		○		
○		成人看護学実習	成人期の対象を総合的に理解し、健康上の問題を持つ個人および家族の看護が実践できる能力を養う。	2 前	90	2			○	○	○	○	○
○		老年看護学実習	老年期の対象を総合的に理解し、健康上の問題を持つ個人および家族の看護が実践できる能力を養う。	2 前	90	2			○	○	○	○	○
○		小児看護学実習	小児期の対象を理解し、健康上の問題を持つ個人および家族の看護が実践できる能力を養う。	2 後	90	2			○	○	○	○	○

○		母性看護学 実習	妊娠・分娩・産褥・新生児期における特徴を理解し、母児およびその家族への看護が実践できる能力を養う。	2 後	90	2			○	○	○	○
○		精神看護学 実習	精神に障害を持つ対象を理解し、健康上の問題を持つ個人および家族の看護が実践できる能力を養う。	2 前	90	2			○	○	○	○
○		在宅看護概 論	在宅看護の必要性和対象、変遷、制度について理解する。在宅看護の活動の場と役割を理解する。	1 後	15	1	○		○			○
○		在宅看護方法 論Ⅰ (在宅看護技 術)	在宅看護の方法を理解するとともに在宅看護の技術を習得する。在宅看護に関連する保健・医療・福祉との連携の必要性および在宅援助体制について理解する。	1 後	30	1	○		○		○	○
○		在宅看護方法 論Ⅱ (看護過程)	在宅看護の方法を理解するとともに在宅看護の技術を習得する。	1 後	15	1	△	○	○		○	○
○		看護研究	看護における研究の意義や方法について理解する。看護を研究的視点でとらえることのできる態度を身につける。	2 前	30	1	○	△	○		○	
○		看護管理学 (医療安全・ 国際看護・看 護管理)	諸外国が抱える看護問題を理解し、看護師として果たす役割を理解する。 医療事故のシミュレーション体験を通して自己の行動をメタ認知し、医療事故防止について理解する。チーム医療及び他職種との協働で看護師としてのメンバーシップ及びリーダーシップを理解する。	2 後	30	1	○		○		○	○
○		災害看護	災害直後から支援のため看護の基礎知識・技術を習得する。	2 後	15	1	○		○		○	
○		看護技術統合 演習	事例を用いた技術演習を行うことで状況に応じた看護技術の実践ができる能力を身につける。	2 前	45	1		○	○		○	○
○		在宅看護論 実習	地域および在宅において、対象および家族の状態に応じた看護が実践できる能力を養う。	2 後	90	2			○		○	○
○		総合実習	複数の事例を体験し、総合的な判断能力を養う。他職種との協働の中で看護師としての役割を学び、幅広い視点から患者をとらえて、その場に適切な対応ができる能力を養う。患者の1日の変化を把握し看護について学ぶ。	2 後	90	2			○		○	○
合計					54	科目	2190	単位時間(68	単位)		

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
所定の修業年限以上在学し、必要単位を修得して課程を修了したと認められることを卒業要件とする。履修方法は各関係法律および関係法令の定めによるものとする。	1 学年の学期区分	前・後期
	1 学期の授業期間	24週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。